



CNS・CN だより

Certified Nurse Specialist
Certified Nurse Letter

2024 年 3 月 27 日
Vol. 22
発行：専門・認定看護師会

御退官おめでとうございます

安原光子 集中ケア認定看護師

近くで背中を見て、多くを学んできた認定看護師から
感謝のメッセージです



集中ケア認定看護師として、専門性の高い看護実践の根幹にある『患者さんの願いに寄り添う姿勢』『退院後の生活を見据えた個別の日常生活援助の大切さ』を伝えてくださいました。常に患者さんの尊厳を大切にされた看護ケアは、現在、多くのスタッフの看護実践に生きています。さらに、RST 部会や RRS 部会の設立などを通じて、院内全体の看護の質の向上、人材育成にも多大なご尽力をいただきました。

安原師長さんが築いてこられた「道しるべ」を、専門・認定看護師会で守り、伝えていきたいと思ひます。15 年間、ありがとうございました。 専門・認定看護師会会長

小児救急看護認定看護師 上甲貴江



安原師長さんは、いつも患者・家族のことを第一に考え、私が看護ケアや認定看護師として迷うときは相談にのってくださり、一緒に笑い、泣いたりしながら

ご指導していただきました。安原師長さんと話し始めたら、つい何時間も話してしまいます。

まだまだご指導いただきたいのですが、これまで学んだことを今後も活かしていきたいと思ひます。

本当にありがとうございました。

クリティカルケア認定看護師 上野友香里

集中ケア認定看護師の先輩として、本当に沢山のことをご指導いただき、学ばせていただきました。

患者・家族へ寄り添う言葉かけや姿勢は、本当に『認定看護師の鏡』でした。

患者や家族の不安な気持ちを一番に考える、という安原師長さんの思いを引き継ぎ、「ICU で治療してもらって良かった」と言ってもらえるよう、スタッフ一丸となって集中治療室を盛り上げていきます。

本当にありがとうございました！

集中ケア認定看護師 貸川雄介

— 私たちが歩く道は、誰かが先を歩いてくださっていたので歩き続けることができ、今も歩いている —
専門・認定看護師が歩くべき方向を示してくださった、その功績に感謝いたします

掲示板

◆心不全看護認定看護師 山崎 綾乃さん

新メンバー 次回号に掲載予定

専門・認定看護師にお気軽にご相談ください！！

「患者さんの対応について聞きたい」「病棟で学習会を企画したい」などなど、いつでも みなさんからのご依頼をお待ちしています！

編集後記

今年度も皆様のご協力をいただき、専門分野の活動に取り組むことができました。

能登半島地震では、DMAT をはじめ災害支援ナースや被災地医療派遣に認定看護師が出向し、被災された方々の対応にあたられました。改めて、協働の重要性を強く感じた次第です。

新認定看護師誕生という新たな力を得て、次年度も引き続き各専門分野と協働しながら新たな事にチャレンジしていきたいと思ひます。(藤田・杉町)

今年も！

研修会やっています！

12 月 15 日 「新任認定看護師の紹介と活動」

感染管理 宮本 CN ・ 皮膚・排泄ケア 妹尾 CN ・ 手術看護 富永 CN

参加者 35 名(集合参加:27 名、ウェビナー参加:8 名)

新認定看護師が分かって良かったです。

すぐに実践できる内容でした。

2 月 29 日 「メンタルヘルスの基礎知識」

精神科 城崎 CN

参加者 45 名(集合参加:33 名、ウェビナー参加:12 名)

自己肯定感としてありのままの自分を受け入れることが大切

ポジティブになる秘訣

能登半島地震

日本看護協会 災害支援ナース派遣
自治体病院協議会被災地医療派遣

日本看護協会 災害支援ナース派遣

2024 年 1 月 27 日～1 月 30 日

広島県看護協会から第 4 班として 1.5 次避難所の小松総合体育館に派遣され、日常生活支援や感染管理等を行いました。1.5 次避難所とは、要配慮者とその家族に対し、被災地の避難所等から被災地外へ一時的な避難施設として運営を行い、ホテル・旅館等への移動を支援する場所です。実際は介護が必要な高齢者が多く、なかなか 2 次避難所への移動が難しい現状を目の当たりにし、今まで通りの生活を続けることの困難さを痛感しました。(救急看護 CN 板原容子)

自治体病院協議会被災地医療派遣

2024 年 2 月 6 日～2 月 12 日

金沢市立病院:内科・コロナ病棟応援派遣

一般病棟で受け持ち看護業務を行いました。

被災病院からの転院、避難所で体調を崩された方の救急搬送など、病床利用率は数割増し、救急搬送数も増え、看護師さんはかなり疲弊しておられました。そんな中でも、患者さんへの清潔ケア、食事介助、身体拘束解除などにチームワークで取り組んでおられました。(認知症看護 CN 大西奈緒)

